

NPO法人 共に歩む市民の会 会 報

共に歩む市民の会広報委員会

通巻 第32号

2011年7月31日 発行

〒241-0022

横浜市旭区鶴ヶ峰2-1-16

☎045-953-6727



一枚のチョコレート

NPO 法人市民の会 寿アルク職員 田上 和則

一年に一回ですが監査の役割をさせていただいております、田上と申します。今年も年次総会は欠席し、皆さんにはご迷惑をおかけしました。

私はアルコール依存者本人です。昔は「アル中」と言わっていました。現在はWHO(世界保健機構)で病気と認められ、回復する方法があることです。

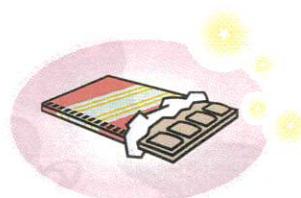
しかしこの病気に対して社会の偏見はまだ根強く「意志が弱い。だらしがなく人に迷惑をかける」と思われています。特別な人がなる病気ではありません。コントロールが効かないで酒を飲み続け、生活できなくなる人が多いのですが、症状が落ち着けば当たり前に生活できるのです。精神病院への入院だけではなく、退院後に地域での受け皿がもっと必要だと考えています。

アルコール依存症は回復できる病気ですという考え方で、酒を飲まないで生きる方法と就労支援をする中間施設で働いていました。この施設を利用する人たちの社会参加を後押しする内容は「一緒にやること」を大切にしています。生活保護を受け、病気の治療が条件となり、担当者からは施設に通うことを勧められ、本人はいやいや通所する人がほとんどです。アルコール依存症が病気とは信じられない、認めない=否認するのが始まりになるのです。

一昨年その施設を定年退職となり、清掃の仕事に雇ってもらいました。これまで15年間の援助職では、机に座り口では偉そうなことを言い、実際に汗を流していました。現場での清掃作業に慣れないし、体のあちこちが痛くなり、体力不足を痛感しました。便所掃除や廊下や室内でモップかけることにも「こつ」があることを学びました。肩書きも名刺も資格も問われない本当に気楽な立場にありました。

「掃除のおじさん」と呼ばれ汗を流して動けることで、身も心も軽くなることを実感したものです。昨年の夏は暑くて、体重は10キロ以上も落ち久しぶりに身体も軽くなりました。現場では「掃除のおじさん、こっちもやってよ」と言われ精神的にも楽でした。夕方仕事が終わり信用金庫の行員から「ありがとうございます」と言われ、私の方こそありがたい気持ちを貰えたのです。

ある時、外回りから帰ってきた行員さんから「いつもご苦労さま。これをどうぞ」と渡されたのは一枚のチョコレートでした。それは、バレンタインデーの前日でした。



特定非営利活動法人『共に歩む市民の会』

第7回 通常総会

平成 23 年 6 月 11 日 於 ぱれっと旭



市民の会理事 高橋 成忠

今年度は、東日本大震災とそこから派生して生じた原発の事故という私たちの生き方を根本から見直さざるを得ない現実を突きつけられる毎日から始まりました。私たちは「何を大事にして」活動していくのか、会員、ピア、理事、職員がともに活動を作り上げていく新たな一年でありたいと思います。

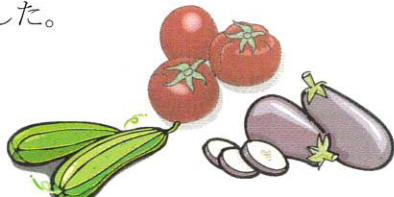
去る 6 月 11 日（土）午後 1 時半より「ぱれっと旭」多目的研修室において、「共に歩む市民の会」第 7 回通常総会が開催されました。深井理事長の挨拶、来賓の旭区福祉保健センター長安孫子理恵氏と旭区社会福祉協議会事務局長伊藤学氏のご挨拶の後、本総会の成立が確認され、議長に村木氏、書記に寺本氏、佐久間氏を選任し、議事が進められました。

議長より、2010 年度事業報告（案）と決算報告（案）の一括審議、また、2011 年度の事業計画（案）と収支予算（案）の一括審議の提案がなされ拍手を持って承認されました。直ちに、担当者から説明がなされ、高野理事より一年間の活動の総括が行われ、「ほっとぽっと」を立ち上げた原点を振り返りつつ「新しい場の検討会」を立ち上げたこと、また、現在の活動の中に知恵やエネルギーの不足が感じられることが課題であるとされました。続いて小田理事より決算報告がありました。質疑の後、多数の拍手により、両議案は承認可決されました。第 3 号議案は今年度の基本方針として事務局体制の立て直し、新しい人材の確保に取り組むことなどが提案されました。第 4 号議案は今年度の収支予算案が提案されました。いずれも拍手を持って承認可決されました。第 5 号議案では和田公一新理事が選出されました。

以上で第 7 回通常総会が終了し、議長団の皆さんに大きな拍手が送られました。

第二部は「トークとスライドショー」で、深井理事長と布留川さんの司会で始まり、4 月に着任された MSW の山本さんへのインタビューが行われました。山本 MSW の姿勢から真摯で明朗なお人柄がうかがわれ楽しいひと時が過ぎてゆきました。続いて布留川さんの日常生活の一部が上映されました。また、「ほっとぽっと」利用者登録更新アンケートのレポートも上映され、施設長より報告がありました。

和田新理事の選出やスター布留川の誕生など、総会は終了し、新たな一年への活動が始りました。





「新しい場」検討会について

～私は「共に歩む市民の会」14歳会員です～

市民の会理事 松元 紀子

会員の皆様、いかがお過ごしですか。3月の原発事故で放射能汚染も心配な夏を迎えるとして居ります。先日第7回総会では、今年度の基本方針として①当会の活動の在り方の検討を行う。会員やピアと共に活動する。②「新しい場」の検討および具体化をすすめる為、会員、理事、ピア、職員、（新しい人材）の参加を求める、が承認されました。

「新しい場」の検討会はピアスタッフ、職員、ボランティア、理事11名で構成され昨年11月に開始。6月現在8回を重ねております。「手軽に出来るたまり場・サロンをほっとぽっと休館日に当事者だけでやってみたい」「ひきこもり当事者、その家族をそれぞれの事情と要請により訪問活動してほしい」「慣れ親しんだ街で暮らせる住まいの問題にとり組みたい」「何といっても目標は24時間、365日の障がい者への支援体制づくりね。これは、長期に亘る取り組み課題ね」等々意見百出です。

社会福祉法人「町にすむ会 KUINA」は、現在24時間・365日体制という事で、実は4月に職員さんを招き、お話をきく研修が予定されていました。3.11大震災の折、KUINAも被災され当問題はストップ状態です。

2005年2月オープンしたほっとぽっと（旭区地域生活支援拠点B型第1号）は、あっという間に6年が経過しました。利用者へのアンケートが、この度集計されました。回収された144名の半数の方たちが、感想・意見を自由記述「今まで満足」「良い友達をつくりたい」「パソコン講座を開いてほしい」「相談電話がつながりにくい。メールか他の方法で、スタッフに話をきいて欲しい」「病気になった時には特にスタッフ様に訪ねてもらいたい（ご多忙で恐縮ですが）」等々。当初に比べて、ほっとぽとの利用者、サービス量は急増している。支援拠点を運営する大黒柱である職員が働き易いより良い環境づくりも急務と思われます。

個人的には、木造二階建て中古住居のほっとぽっともパンク状況かなと時に感じます。3・11大震災も経験した今「二俣川の便利な場所に堅牢な建物の中で生活支援拠点の活動をしたいよね」と、先日も大きな夢が語られました。

あと6年後、2017年にはNPO法人「共に歩む市民の会」は、20周年を迎ることになります。当初の原点を見つめ直し、立場を越え何を目標にして実現するのかが、今、問われているのでしょう。会員始め、行政機関、地域の皆さん方一層のお力添えをおねがいいたします。

私事で恐縮ですが、一昨年12月、我が息子が（むくどりの家に通所）自宅にて急死。晴天の霹靂でありました。現在、夫も私も、無事に暮らせるのは、安心の居場所「ほっとぽっと」につながっていられるお陰と痛感しております。ありがとうございます。





「情熱ばかりが先走り」

ほっとぽっとピアスタッフ 和田公一

ピア活動について書いて欲しいと依頼を受けた。私にとってのピア活動に対する想いについては、やどかり出版の「ひとりぼっちのあなたへ」という本の「はじめに」のところと、対談のところで、あらかた述べたので、詳しくはお買い上げいただき、それを読んでいただけたらと思います。ではよろしくさようなら。・・・てなわけにはいかないですよね。本に載っていないような話をなるべく書くね。

時代、さかのぼる事 2006 年、私がデイケアに所属したばかりの話。一般就労の復帰を今後の人生の目標にする事に、いい加減疲れてしまっていて、へきえきしていました。

そんな時、デイケアのプログラムで、「第 7 回旭区精神保健福祉セミナー」におもむきました。結果から書くと、そのセミナーで講演されていた、やどかりの里の増田一世さんの話を聴いて、激しく感動してしまいました。その時の私の衝撃ときたら、これまでしいたげられてきた精神障害者達の靈が背中にサッと入ってくる様な感覚がしました。

そして、一般就労にこだわらず、当事者活動を通して、社会とつながり、又、社会と闘うチカラだって、私という当事者の中にも有るという事を気付かされました。私にとって「当事者活動」は「一般就労」に匹敵するものだと私には思えました。興奮して、その日の夕方ひとりで鶴ヶ峰駅前でタバコを 20 本くらい吸って、自分をクールダウンさせました。その後、妻との出会いもありましたが、まさにライク・ア・ローリングストーンのごとく、ほっとぽつとへ転がり込み、むさぼる様に当事者活動にのめり込みました。

そして私の当事者活動（ピア活動）も今年でもう 5 年目に入りました。

ぶっちゃけ、しんどい事ばかり。でもよく分からぬ使命感が私の背を押し続けるのです。恥をかく事も多いのですが、私は黙してあたり障りのない道を歩くことは出来ないようです。いつも精一杯なので、たまにピントをはずしてヘロヘロになります。これで良いのだ。たかだか 42 歳のヒヨッコが何かを悟っている様な顔になんかなりたくない。

私にとって当事者活動（ピア活動）続ける事は、納得した人生を過ごす上で、欠かせないものになりました。情熱ばかりが先走りますが、これが私です。





田山さん ごくろうさまでした

共に歩む市民の会代表 深井 浩司

田山さんとの出会いは、私が保土ヶ谷病院からむくどりの家へ通所している頃でした。（14年前）田山さんが、夕方時間をつぶすところがないというので「たまり場」を紹介しました。初めて二人で「たまり場」へ行った日が、幹事会の日だった。残っていく様に勧められ、幹事会に参加しました。それが、たまり場の幹事となることになってしまいました。そして、「たまり場」の当番をすることになったのです。

田山さんは、旭区精神保健福祉セミナーの実行委員長を「やどかりの里」の香野さんに勧められ引き受け、13回位続けました。また、「市民の会」が、まだ市民団体の頃、高橋さん（あけぼの会）の後を受けて代表を務めました。

私は、目立たないように逃げてきましたが、田山さんは、リーダーシップをとるという（自分がやらなくちゃという積極性）、責任感がつよい。

これからは、身体をいたわって欲しい。絶対にフクロウ電話などやってはいけない人が何故やるのかな～とおもう。

高野 静子

田山さん本当にごくろうさまでした。田山さんの責任感と行動力と、みんなでやろうとする仲間への呼びかけがあって、ピアの活動もセミナーもそして「市民の会」も、ここまでこれたなーと感謝しています。これからも「市民の会」を支えてください。お願ひします。

みんなで二俣川ハウスに行ってみませんか？

旭区で活動している有志が中心となって、現在、二俣川でフリースペースや宿泊支援（2泊以上も可）、イベント等の実験的な試みを行っています。

フリースペースは…

月曜日と土曜日 14:00～19:00

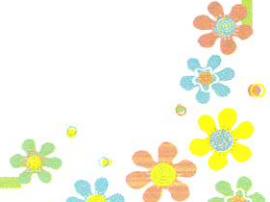
ボランティアさんがいますので、誰でもご自由にいらしてください。

予約制で宿泊も受け付けています。

広報紙（かわら版）を発行していますので、ご覧ください。

または下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先 二俣川ハウス 電話:045-391-5416
吉田 和子 電話:045-953-2868



市民の会・ほっとぽっと スケジュール9~12月

ほっとたつはな亭（文化バ'ソト） 場所：ほっとぽっと別館 連絡先：953-6727

◇ギャラリー『はがきの中の美術館4』巡回展 *場所：ゆいまーる（木楽舎）

7月13日（水）14日（木）15日（金）20日（水）21日（木）22日（金）

◇ギャラリー『夢よ叫べ展～我々、精神疾患当事者は、何処に向かって歩いてゆけばよいのだろう～』

10月15日（土）16日（日）18日（火）19日（水） 11時～16時

◇コンサート企画中！

ふれあい区民祭りでのコンサートや、11月のヴァイオリンの小笠原伸子さんや、

12月のクリスマスコンサート（ゆいまーるに於）などを計画しております！

*今年度は、『横浜アートサイト2011』の参加11団体のひとつとして、

チラシやHPに、ほっとぽっとのロゴが登場していますよ。

*『旭ふれあい区民まつり』 10月16日（日） 10時～15時

*本年は「まつり」全体の実施場所等が大幅に変更されることとなったため、会としての参加の有無・内容については実行委員会（8月3日予定）にて決定します。

*地域ケアプラザでのイベント

11月頃、川井ケアプラザの「福祉フェスタ」参加を計画中。

11月以降、区内ケアプラザにて『夢よ叫べ展』巡回展を予定しています。

花様年華展 Vol.V 歩いて描いて 鮎澤のり子個展 ご案内

～地球はひとつ 命もひとつ～

共に歩む市民の会後援

とき 9月14日(水)→19日(月) 午前11:00～午後6:00 (最終日は午後4:00まで)

ところ みなとみらいギャラリーC (横浜市西区クイーンズスクエア横浜21クイーンモール2F) 045-682-2010

交通：東急東横線みなとみらい線「みなとみらい駅」徒歩0分/JR桜木町駅より徒歩3分

「あなたにときめき展」(別館で開催)から4年、旭区在住で市民の会会員・鮎澤のり子さんの個展が横浜で開かれます。国際公募の「アート未来展」での受賞作も展示されるとか。3年前の原宿での個展には有志で出かけ楽しいひとときでした。躍動感あふれるアユサワ・ワールドへ！夏の疲れを癒しに行きませんか。(川田)

編集後記



✿2月に退院したメンバーさん。小さな地震があるたびに心配して支援者全員に電話をしています。本当に心配してくれているのでしょうか。(OH)

✿家に帰ったらランドセルがなかったので心配していたら、うちの息子は公園のベンチで休憩と称して寝ていました。(MI)

✿大震災から4か月。まだ、行方不明者が5000人。改めて、被害の大きさを感じます。。(TA)

①被災地でかき氷を配り、かき氷であんなに笑顔になれるなんて初めて知りました。(F.T)